

北九州工業高等専門学校		開講年度	平成30年度 (2018年度)	授業科目	専攻科特論VII
科目基礎情報					
科目番号	0003		科目区分	専門 / 選択	
授業形態	授業		単位の種別と単位数	学修単位: 1	
開設学科	生産デザイン工学専攻		対象学年	専1	
開設期	集中		週時間数		
教科書/教材	「指定または準備する教材」				
担当教員	小清水 孝夫,久池井 茂				
目的・到達目標					
制御・機械工学系の基礎から最先端のモノづくりについて理解する。					
ルーブリック					
		理想的な到達レベルの目安	標準的な到達レベルの目安	未到達レベルの目安	
学科の到達目標項目との関係					
教育方法等					
概要	本講義では制御・機械工学系最先端のモノづくりについて講義を行う。基礎的事項とともに注目される新技術、社会動向を踏まえ、これら技術について深く学ぶ。なお、本授業は他高専あるいは本校の専攻科で開催されるサマーレクチャーなどで学修した結果、その成果が1単位の相当すると認められる場合には、専攻科特論VIIを学修したものと1単位を認定する。読み替えの判定は専攻科委員会で行われる。開講時期は、開催に先立って通知される。実際に世の中で使われている製品やシステムから、先端のモノづくりの動向、開発動向、開発事例を学ぶ。開発手法やモノづくりに必要な技術を機械工学や制御工学に関する視点で理解する。				
授業の進め方と授業内容・方法	本校で開講する場合、オムニバス方式で制御・機械工学系最先端のモノづくりについて講義を行う。設定されたテーマにより、参加者の専攻分野が限定されることがある。				
注意点	担当講師・教員から指示する。				
授業計画					
		週	授業内容・方法	週ごとの到達目標	
前期	1stQ	1週	機械工学系最先端のモノづくりについて学ぶ。	機械工学系最先端のモノづくりについて理解し説明できる。	
		2週	機械工学系最先端のモノづくりについて学ぶ。	機械工学系最先端のモノづくりについて理解し説明できる。	
		3週	機械工学系最先端のモノづくりについて学ぶ。	機械工学系最先端のモノづくりについて理解し説明できる。	
		4週	機械工学系最先端のモノづくりについて学ぶ。	機械工学系最先端のモノづくりについて理解し説明できる。	
		5週	機械工学系最先端のモノづくりについて学ぶ。	機械工学系最先端のモノづくりについて理解し説明できる。	
		6週	機械工学系最先端のモノづくりについて学ぶ。	機械工学系最先端のモノづくりについて理解し説明できる。	
		7週	機械工学系最先端のモノづくりについて学ぶ。	機械工学系最先端のモノづくりについて理解し説明できる。	
		8週	制御工学系最先端のモノづくりを学ぶ。	制御工学系最先端のモノづくりを理解し説明できる。	
	2ndQ	9週	制御工学系最先端のモノづくりを学ぶ。	制御工学系最先端のモノづくりを理解し説明できる。	
		10週	制御工学系最先端のモノづくりを学ぶ。	制御工学系最先端のモノづくりを理解し説明できる。	
		11週	制御工学系最先端のモノづくりを学ぶ。	制御工学系最先端のモノづくりを理解し説明できる。	
		12週	制御工学系最先端のモノづくりを学ぶ。	制御工学系最先端のモノづくりを理解し説明できる。	
		13週	制御工学系最先端のモノづくりを学ぶ。	制御工学系最先端のモノづくりを理解し説明できる。	
		14週	制御工学系最先端のモノづくりを学ぶ。	制御工学系最先端のモノづくりを理解し説明できる。	
		15週	制御工学系最先端のモノづくりを学ぶ。	制御工学系最先端のモノづくりを理解し説明できる。	
		16週	レポート等作成	制御工学系最先端のモノづくりについて学習した内容をレポート等にまとめる	
後期	3rdQ	1週			
		2週			
		3週			
		4週			
		5週			
		6週			
		7週			
		8週			
	4thQ	9週			
		10週			
		11週			
		12週			
		13週			
		14週			
		15週			
		16週			
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標					
分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週

評価割合							
	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	0	0	0	0	0	100	100
基礎的能力	0	0	0	0	0	0	0
専門的能力	0	0	0	0	0	100	100
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0